

◆受託検査サービスについて

<お問合せ・依頼申込について>

製造時加熱条件や異物発見時や発見されてからの状況をおうかがいし、試験が実施できる条件であるか確認します。

- ・製造時加熱110°C30分以上
- ・それ以外に加熱をうけているか等(レンジ・湯煎)
- ・必要量：虫の一部のみでも可(成虫・幼虫でも可)
- 弊社に送付いただく際は、製品から異物を取り出した状態で、冷蔵または冷凍でお送りください。
- 再現試験用に未開封の製品2~3袋必要となります。

<分析結果について>

お客様と打ち合わせした条件で再現試験を実施し、結果を試験品(異物)の結果と比較いたします。

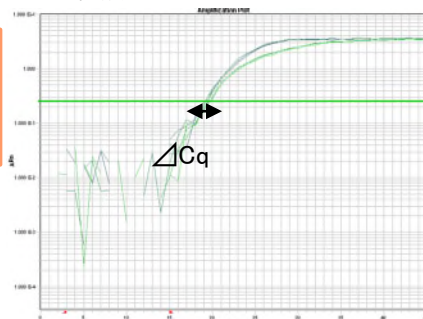
⇒例えば、異物発見後に常温で1日程度放置されていた試験品の場合

再現試験は以下の条件で実施。

- ①25°C1日保管
- ②製造時加熱+25°C1日保管

※未処理のクロゴキブリの ΔCq 値を基準とし、試験品と再現試験品の $\Delta\Delta Cq$ 値を算出します。

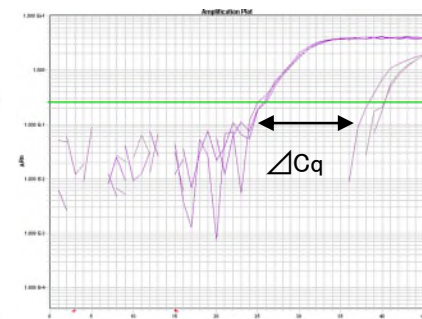
(※結果はイメージです。)



試験品



再現試験品①



再現試験品②

	$\Delta\Delta Cq$
試験品	0.5
再現試験品①	0.4
再現試験品②	13.9

※ ΔCq 値の算出方法

$$\Delta Cq = Cq(\text{長鎖DNA増幅産物}) - Cq(\text{短鎖DNA増幅産物})$$

※ $\Delta\Delta Cq$ 値の算出方法

$$\Delta\Delta Cq = \Delta Cq(\text{試験品}) - \Delta Cq(\text{未処理品})$$

この場合、試験品は再現試験品①の値と同程度であり、製品の製造時加熱をうけた可能性は低い旨を報告書に記載いたします。(報告書例は次ページを参照ください。)